

【 38 】

氏名 守 本 典 子

学 位 の 種 類 医 学 博 士

学 位 授 与 番 号 博 甲 第 883 号

学 位 授 与 の 日 付 平 成 3 年 3 月 28 日

学 位 授 与 の 要 件 医 学 研 究 科 外 科 系 眼 科 学 専 攻  
( 学 位 規 則 第 5 条 第 1 項 該 当 )

学 位 論 文 題 目 暗・明順応下の脈絡膜組織血流量に関する研究

第 1 報 暗順応下の脈絡膜組織血流量

第 2 報 明順応下の脈絡膜組織血流量

論 文 審 査 委 員 教 授 中 山 沃 教 授 堀 泰 雄 教 授 増 田 游

## 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

網膜外層は脈絡膜循環から栄養されているが、網膜外層の機能的変化が脈絡膜血流量にいかなる影響を及ぼすかを知る目的で、暗順応および明順応前後のウサギの脈絡膜組織血流量を水素クリアランス法を用いて測定した。その結果、網膜酸素消費量が多いとされている明順応下においても網膜酸素消費量が少ないとされている暗順応下においても、脈絡膜組織血流量に有意な変化は認められなかった。また、長期に暗順応下におかれることにより網膜機能は低下するという報告があるが、長期暗順応後にも脈絡膜組織血流量に有意な変化は認められなかった。このように網膜外層の酸素需要が増減しても脈絡膜血流量が変化しないのは、脈絡膜循環が常に豊富な血流量を有し、ある程度の需要の増減には影響されないほど十分な予備能をもつためと考えた。

## 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

ウサギを用い、暗順応および明順応時の脈絡膜組織血流量を水素クリアランス法により測定した結果、網膜外層の酸素需要が増減しても脈絡膜血流量は変化しないことを明らかにした。これは脈絡膜循環の生理に関し重要な知見であり、医学博士の学位を授与するに値する論文と認め、合格と判定した。